

中小企業地域資源
活用促進法に基づく



わが市町村の
ふるさと名物は
これ!



ふるさと名物
Furusato Meibutsu



熊本県湯前町
が応援するふるさと名物

◎球磨スギの製品群
熊本県球磨郡湯前町
湯前町役場 産業振興課 0966-43-4111



ふるさと名物
Furusato Meibutsu

応援宣言

熊本県湯前町

湯前町イメージキャラクター
ゆっくん



地域の
プロフィール



湯前町は熊本県の南部、球磨盆地の東端に位置し・東は宮崎県西米良村と九州山脈で接しています。西は多良木町、北は球磨川流域で遮り対岸は水上村に隣接しています。

交通は、基幹道路として国道219号が中心部を東西に走り、国道388号も中心より北に走っておりこれらの国道を軸として4路線の県道が隣接町村を結んでいます。

当町の総面積は4,837haで、その内3,601ha(74%)を林野が占めています。山林の保有形態は、国有林が2,187ha(林野の約60%)、民有林が1,414ha(林野の約40%)という構成割合です。

民有林の一般地勢は、市房山から花立山、白髪岳に連なる九州山地中腹以下の山麓を占め、林業経営に適し、民有林においては、スギ・ヒノキを主体とした人工林率約90%で、そのうち約56%が9齢級以上(41年生以上)となっております。

ふるさと名物の内容



主な地域資源 球磨スギ



◆球磨スギ

林業が盛んな九州にあっても当地域は有数の素材生産を行っており、当町と隣接する水上村の上球磨地域での1年間の素材生産量は約130,000m³であり、他県の県全体の素材生産量に匹敵する量を2町村で生産しております。

生産している主な樹種はスギ、ヒノキであり、中でもスギは建材として適度の強度があり、乾燥に適し、色味がきれいであるため、「球磨スギ」として主に九州各地や関西方面へ出荷されています。

◆球磨スギを取り巻く状況

九州産のスギは、他の地域に比べ成長が早いため、同じ林齢の木よりも大径化しており、丸太の元玉が40cm径以上の大径木や、50cmを超えるような大径木も珍しくありません。

大径木は、かつては「役物」として稼ぎ頭でありましたが、和室や床の間を設ける家が減少し役物の需用が減退した結果、価格が大幅に下落しました。

また、梁・桁・柱や合板等では、大径が故に扱いにくく、スギだけではなくヒノキも同様に50年60年育った木が市場では売れ残っており、大径木の活用が喫緊の課題となっております。

◆球磨スギを使った取り組み

木の成長が早い九州での大径木の課題は、今後全国で順次起きる課題ではありますが、その反面、大径木の活用法を見いだすことは、課題の解決方法を先取りすることができるビジネスチャンスでもあります。

林業・木材産業が盛んな当地域では、産地側の素材生産業者や製材加工業者、消費地側の製品販売業者がネットワークを構築して、SSDプロジェクト（国産材品質表示推進協議会）を設立し、この大径木の活用方法について検討を行い、様々なデータ取りや試作、モニタリングを行い、適度の強度があり、乾燥に適し、色味がきれいである特徴を活かして、球磨スギの大径木を使った新製品を開発されました。

平成27年度から、関西を中心に球磨スギの大径木を活用した新製品の販売を開始され、既に大型の福祉施設や一般住宅でも活用されており、今後需要が拡大していくことが見込まれております。

ふるさと名物の内容



ふるさと名物 球磨スギの製品群

○ J A S 機械等級区分構造用 杉平角製材

- ・球磨杉 J ビーム (球磨スギを使った住宅用の梁)
 - ・SSD球磨杉 J ビーム (球磨スギの大径木を使った住宅用の梁)
- いずれも、強度E-70以上、含水率SD-20以下を品質性能基準と定めJAS機械等級区分構造用製材の規格に沿った製品



○ S S D 球磨杉サーモサイディング

一切の化学薬品を使用せずに、水分と高温熱処理活用の特許技術にて、圧倒的な寸法安定性と高耐久性能、断熱性能を確保した球磨スギの無垢外装材



○ 構造材、羽柄材

林業が盛んな地域であるため、安定した原木供給を背景に、町内に市場製材所、プレカット工場、工務店があり、前項の新製品に加え、従来からの製材方法による建築用材として、構造材(芯持材)や羽柄材(間柱・垂木を中心とした下地材)を県内のみならず県外の地域へも出荷しております



○ 木工製品

建材のみならず加工しやすいスギを使った木工製品も製作され、町内の物産販売所や県外で販売されております



市町村の取り組み



独自の取り組み

当町は、林業振興と雇用の確保のため森林整備に力を入れており、森林整備を進めるにあたり企業の協力もいただき、熊本県が定める「企業・法人等との協働の森づくりに関する指針」に基づく森づくり協定が県内で唯一、2例あります。

JTの森ゆのまえ（日本たばこ産業株式会社・熊本県・湯前町による3者協定）

事業期間 H26年度～H30年度 対象森林 207.86ha

くれないの森ゆのまえ（株紅中・熊本県・湯前町による3者協定）

事業期間 H23年度～H28年度 対象森林 1.85ha

また、平成6年に地域林業の活性化対策として、官民一体となり、国産材の流通加工体制の整備を図り、林業生産性の向上と林業者の所得機会の確保に努め、林業・木材産業の経営の安定を図るため、当町と水上村、地域林業・木材産業事業者が出資し、第3セクターとして「球磨プレカット株式会社」を設立しました。

プレカット工場の稼働により、構造材の加工は短期間にその加工が行えるようになり、乾燥機の使用、正確な切り込みにより建築現場での手加工よりも狂いが少ないため、消費者のニーズに応える製品の供給が可能となりました。

現在では、地域内はもとより九州や関西にまで営業の幅を広げており、消費税増税後も取扱量は増加傾向にあります。



市町村の取り組み



独自の支援策

◆ 森林保全のための取り組み

間伐材供給安定化緊急対策事業

民有林の間伐を促進するため、森林所有者等に対し間伐材流通経費等の助成

湯前町民有林森林作業道開設事業

民有林における間伐や主伐を促進し、山から安定的に原木を供給できるよう民有林内において森林作業道を開設する際の事業費の助成

◆ 林業振興のための取り組み

湯前町林業・木材産業振興施設等整備事業

林業を振興し、町土の保全並びに自然の保護を図るため、林業事業者が施設整備等を行う際の導入経費を助成

◆ 林業従事者育成のための取り組み

森林組合作業班育成対策事業

将来に渡る林業従事者の育成、確保のため、林業従事者に対し1年間のうち100日以上就労実績がある時に就労奨励金を交付

◆ 木材需要拡大のための取り組み

湯前町木材需要拡大促進事業

球磨スギ、球磨ヒノキの需要拡大のため、一般住宅や車庫、倉庫等を建築する際に建材の内、構造材の代金を助成



市町村の取り組み



その他

◆ ウッドデザイン賞2015受賞

ウッドデザイン賞は、木の良さや価値を再発見させる製品や取組について、特に優れたものを消費者目線で評価し、表彰する新しい顕彰制度です。

当町を含むSSDプロジェクト（国産材品質表示推進協議会）では、球磨スギを使った「SSD球磨スギJビーム」をウッドデザイン賞（ソーシャルデザイン部門）に応募し、一次審査、二次審査を経て、木の良さや価値を再発見させる特に優れた取組みと評価されてウッドデザイン賞を受賞しました。



JAPAN WOOD DESIGN
AWARD 2015

ウッドデザイン賞 2015

下記の作品は、消費者目線での新たな木づかいを促進する
ウッドデザイン賞に入賞いたしましたので、これを表彰します。

ソーシャルデザイン部門

SSD 球磨杉Jビーム

国産材品質表示推進協議会：SSDプロジェクト

株式会社紅中

球磨プレカット株式会社

九州横井林業株式会社 湯前木材事業協同組合

上球磨森林組合 北辰物流エンジニアリング株式会社

熊本県球磨郡 湯前町 熊本県球磨郡 水上村

平成27年12月10日

ウッドデザイン賞運営事務局



地域の名物（参考）



特産品

農業においては、手入れされたスギ・ヒノキ等の森林で育まれた水を生かして、全国食味ランキングで特Aを獲得した事もあるおいしいお米を主体とする農業生産を展開してきました。

近年は、経営の発展を図るため、施設園芸の導入も盛んとなっております。

施設園芸においては、「いちご」と「ぶどう」が主要な作物となっており、観光物産協会によって、2月には「いちご祭り」、8月には「ぶどう祭り」が開催され当町の特産品のPRを行っております。

また、清らかな水で育った農作物を使ったお漬物等の加工品も大変人気です。



地域の名物（参考）



その他

平成27年4月に相良700年に受け継がれてきた文化・伝統を語るストーリーが、文化庁の日本遺産の認定を受けました。

当町にもストーリーを構成する文化財群として「城泉寺阿弥陀堂」、「御大師堂」、「上里の町観音」、「宝陀寺観音」、「普門寺観音」があります。

日本遺産を構成する文化財以外にも、平成26年に保存修理工事を終えた国指定重要文化財「八勝寺」や、おっぱい神社と呼ばれて親しまれる「潮神社」があり、潮神社では春になると安産や子育てを祈願して町民の有志による「おっぱい祭り」が開かれております。

これらの文化財にも、球磨スギをはじめ地元の木材が使用され、地震や台風等の自然災害を受けることなく、現在までその形をとどめ、地域の人たちに親しまれております。

また当町出身の漫画家「故 那須良輔」先生の偉業を末永く後世に伝える館として、「湯前まんが美術館」があり、近年は漫画を活用した町おこしの取り組んでおり、11月には「湯前まんが美術館」を会場に「ゆのまえ漫画フェスタ」を開催し、多くの方にご来場いただいております。

